

報告事項タ

平成24年度子ども読書に関するアンケート結果について

平成24年度子ども読書に関するアンケート結果について、別紙のとおり報告します。

平成25年4月23日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

## 平成24年度子ども読書に関するアンケート結果について

家庭・地域教育課

### 1 調査目的

平成21年3月に策定した「鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン（第2次計画）」の改訂にあたり、本県の子どもをとりまく読書環境などの実態把握を行い、ビジョン改訂における参考資料とする。

### 2 調査対象箇所及び回答数（概数は別紙参照）

対象	対象校数	有効回答数
小学校3年生	22	624
小学校6年生	22	665
中学校3年生	17	543
高等学校2年生	8	296
大学生	3	314
保育所・幼稚園年長児保護者	23	568
合計	95	3,010

### 3 調査項目

項目	設問			
児童・生徒・大学生	読書に関する意識について	あなたは読書が好きですか。 あなたはどんな本をよく読みますか。 本を読むのはどうしてですか。		
	学校や家庭での読書について	あなたは、学校や家庭で読む本をどのように準備していますか。 あなたは、小さい頃（保育所、幼稚園の頃）、家族に絵本等を読んでもらったことがありますか。 あなたの家では、親子で一緒に本を読むことがありますか。 あなたは、家や図書館で、平日1日にどれくらいの時間読書をしますか。 あなたは、家や図書館で、休みの日（土、日、祝日など）に、1日にどれくらいの時間読書をしますか。 あなたは、この1ヶ月何冊本を読みましたか。 （読書数が0冊の方は、）本を読まなかったのはなぜですか。		
		市町村図書館の利用について	あなたは、1ヶ月にどれくらい市町村の図書館（移動図書館車を含む。）に行きましたか。 （市町村図書館利用が0回の方は、）行かなかったのはなぜですか。 あなたは、まちの図書館（県立図書館を含む）で行われる「おはなし会」に行くことがありますか。	
			学校・大学の図書館の利用について	あなたは、1ヶ月にどれくらい学校や大学の図書館に行きましたか。 （学校・大学の図書館利用が0回の方は、）行かなかったのはなぜですか。 あなたは、どのように本を選んでいきますか。
				電子書籍の利用について
		子ども読書の日について	4月23日は、「子ども読書の日」ということを知っていますか。	

項目		設問
保育所・幼稚園・長児保護者	市町村ブックスタート事業について	あなたの市町村では、ブックスタート事業（6ヶ月健診時等に絵本を手渡す事業）が行われていますか。 ブックスタート事業でいただいた絵本は、家庭で読み聞かせ等に活用されましたか。
	保育所・幼稚園や家庭での読書について	あなたのお子さんが通われている保育所、幼稚園では、読み聞かせやおはなし会が行われていますか。 あなたの家では、1週間にどれくらいお子さんに絵本などの読み聞かせをしたり、一緒に本を読んだりしますか。 (読み聞かせや一緒に本を読んでいる方は、) 1日にお子さんに読んであげる(一緒に読む)時間はどれくらいですか。 (読み聞かせや一緒に本を読んでいる方は、) この1ヶ月間に何冊くらい読み聞かせ(一緒に読む)をしましたか。 あなたは、お子さんに読んであげる本をどのように選んでいますか。 あなたの家では、読み聞かせをする本や一緒に読む本をどのように準備していますか。 (読み聞かせや一緒に本を読むことをしない方は、) お子さんに読み聞かせをしたり、一緒に本を読まないのはなぜですか。
市町村図書館の利用について	市町村図書館の利用について	あなたは、1ヶ月にどれくらい市町村の図書館（移動図書館車や県立図書館を含む。）に行きましたか。 (市町村図書館利用が0回の方は、) 行かなかったのはなぜですか。
		あなたは、お子さんと一緒に市町村図書館で行われる「おはなし会」に行くことがありますか。
		電子書籍の利用について
電子書籍の利用について	あなたは、電子端末を用いた電子書籍についてどう思いますか。 電子書籍と子ども達の読書についてどのように思いますか。	
子ども読書の日に	4月23日は、「子ども読書の日」ということを知っていますか。	

#### 4 調査期間

平成25年1月15日～平成25年1月31日

#### 5 調査結果の概要（詳しくは別紙資料のとおり）

〔児童・生徒・大学生〕

##### ① 読書に関する意識について

- ・読書が「好き」、「どちらかという好き」という子どもは、小3、中、高校生では80%を超えている。大学生は78%と前回より9.3%増加した。
- ・最もよく読む本のジャンルは、「物語（小説）」であり、小6では、社会科で歴史学習が始まることもあり、歴史ものもよく読んでいる。全国調査でも同じ傾向がみられ、伝記などを読むことで読書の楽しさを知る児童も多いようである。高2では「ケータイ小説」が21.7%と前回より6.3%増加しており、携帯やスマートフォンの普及が関係していると予想される。

##### ② 学校や家庭での読書について

- ・1ヶ月間に読んだ冊数について、小3では「16冊以上」が33.3%と最も多く、読書に親しんでいる様子が見て取れる。「0冊」の割合は前回と比較すると減少傾向だが、高2、大学生では20%を超えている。
- ・「読書をしていない」理由として、小3では「スポ少や習い事（部活、サークル）があるから」、その他では「本を読みたいと思わない」が最も多く、読書への関心が薄い傾向にある。また、学

年が上がるにつれて「読書以外の趣味がある」との回答も増え、余暇時間の使い方が多様化している。

③ 市町村の図書館の利用について

- ・1ヶ月の利用「0回」が、前回より小3で7.6%、小6で4.3%、高2で11.2%減少しているものの、学年が上がるにつれて利用回数は減少し、小6以降は半数以上が利用していない。
- ・市町村の図書館を利用しない理由は、小3、小6では「学校の図書館で本を借りる」が最も多く、中3以降では「特に借りる必要がない」が最も多い。

④ 学校、大学図書館の利用について

- ・1ヶ月の利用「0回」が、小3で0.6%、小6で7.0%減少しており、児童にとって魅力ある図書館経営が広がっていることが見受けられるが、中3で8.8%、高2で7.0%、大学生では5.8%増加しており、市町村図書館と同様、図書館離れの傾向が見える。

⑤ 電子書籍の利用について

- ・学年が上がるにつれて利用経験者が増加。小3では「読んだことがある」が26%と、4人に1人の割合となっている。

⑥ 子ども読書の日について

- ・「子ども読書の日」の認知率は、前回と比較して小6で3.7%、高2で2.7%、大学生で12.2%増えているが、全体的に低い。学校によって認知率に差が見られることから、学校の取組の違いが影響していると推測できる。

[保育所・幼稚園年長児保護者]

① ブックスタート事業について

- ・認知度は80.5%と前回より5.7%増加。
- ・配布された絵本の活用率は、「よく使った」「ときどき使った」が合わせて92.4%であることから、家庭での読み聞かせに活用されていることがうかがえる。

② 保育所・幼稚園や家庭での読書について

- ・保育所・幼稚園で読み聞かせが行われていることを認知している割合は95.7%と前回より3.7%増加しており、認知度は向上している。
- ・家庭で読み聞かせをしない理由として、「仕事があるから」「家事があるから」を合わせて36.6%と前回より10.4%増加しており、保護者の多忙感がうかがえる。

③ 市町村図書館の利用について

- ・1ヶ月の利用「0回」が53.9%と前回より5.8%増加しており、市町村図書館の利用は減少傾向。

④ 電子書籍の利用について

- ・電子書籍と子ども達の読書の関わりについて、「小さい時は紙の本をすすめるが、大きくなったら本人にまかせたい」が64.5%と最も多い。今後、小学校、中学校でのメディア教育の推進が大きく関連してくると予想される。

⑤ 子ども読書の日について

- ・「子ども読書の日」の認知率は、96.2%と前回より3.8%減少している。今後、学校・市町村図書館等と連携した取組により、認知率を上げていく必要がある。

## 平成24年度 子ども読書に関するアンケート結果

### 1. 調査対象

	小学校 3年生	小学校 6年生	中学校 3年生	高校 2年生	大学生	合計
調査対象	22校	22校	17校	8校	3校	72校
調査人数	624名	665名	543名	296名	314名	2,442名

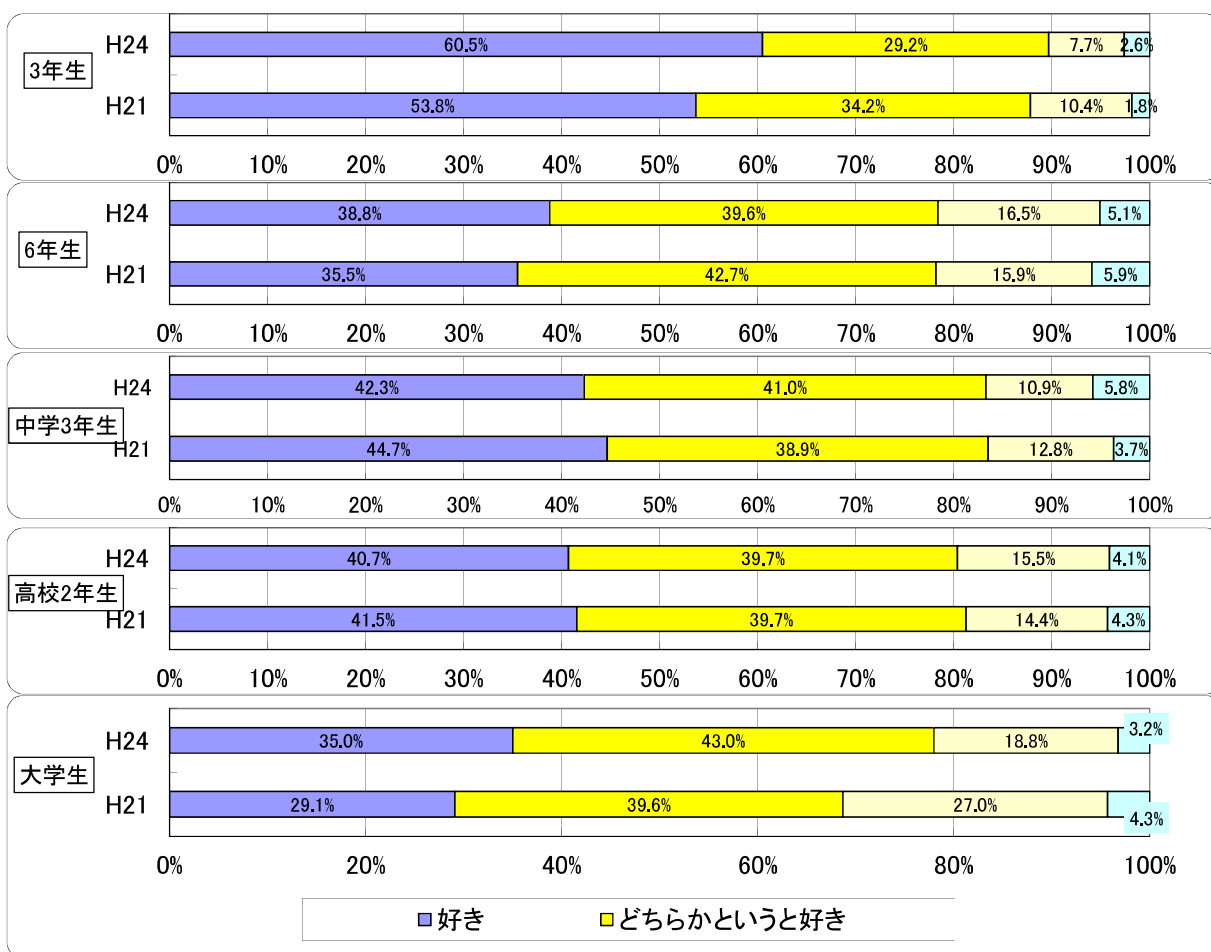
区分		幼稚園	保育所	計
保育所・幼稚園年長児保護者	調査対象	5カ所	18カ所	23カ所
	調査人数	203名	365名	568名

### 2. 調査結果

#### 【児童・生徒・大学生】

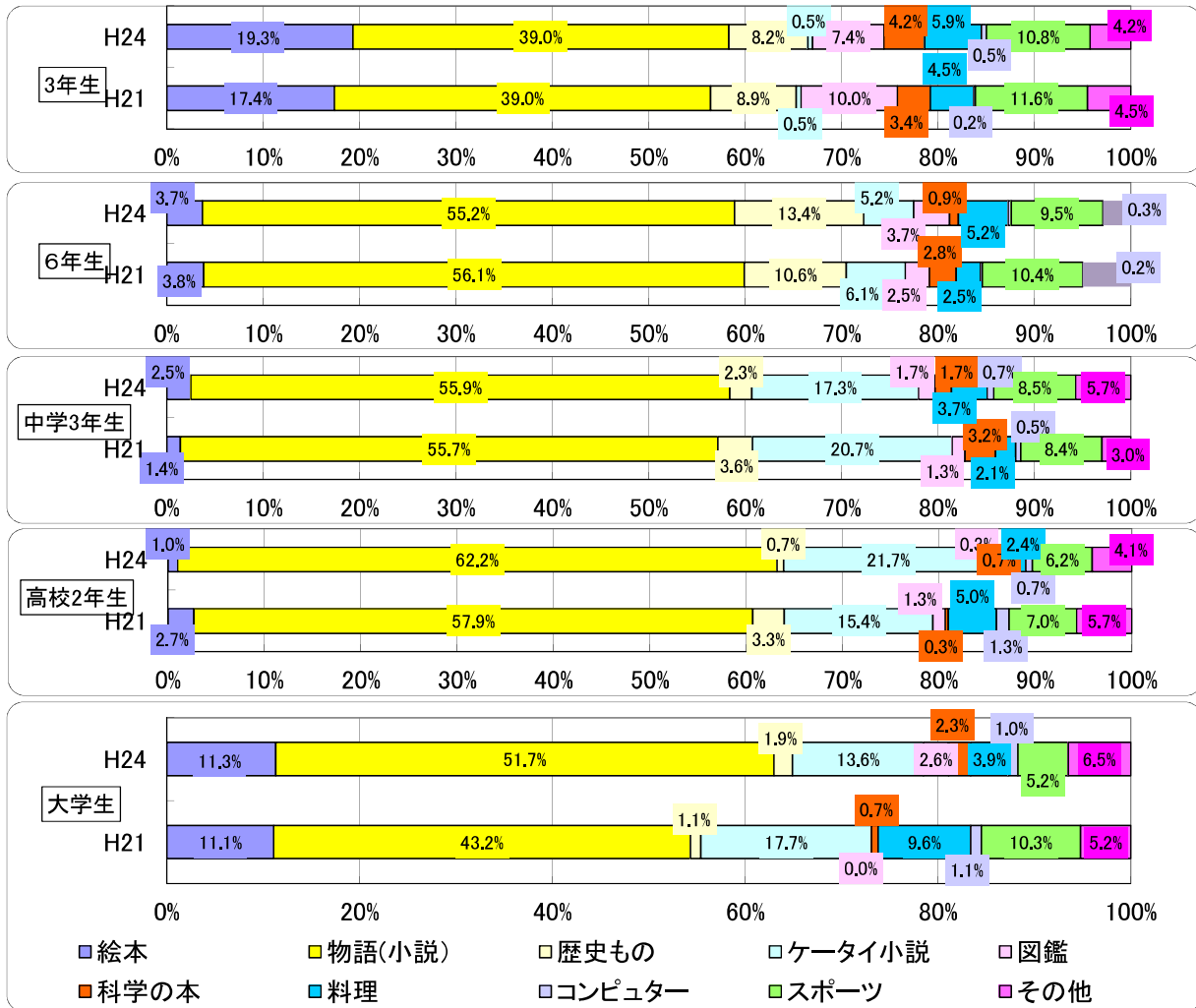
#### (1) 読書に関する意識について

問1 あなたは、読書が好きですか。



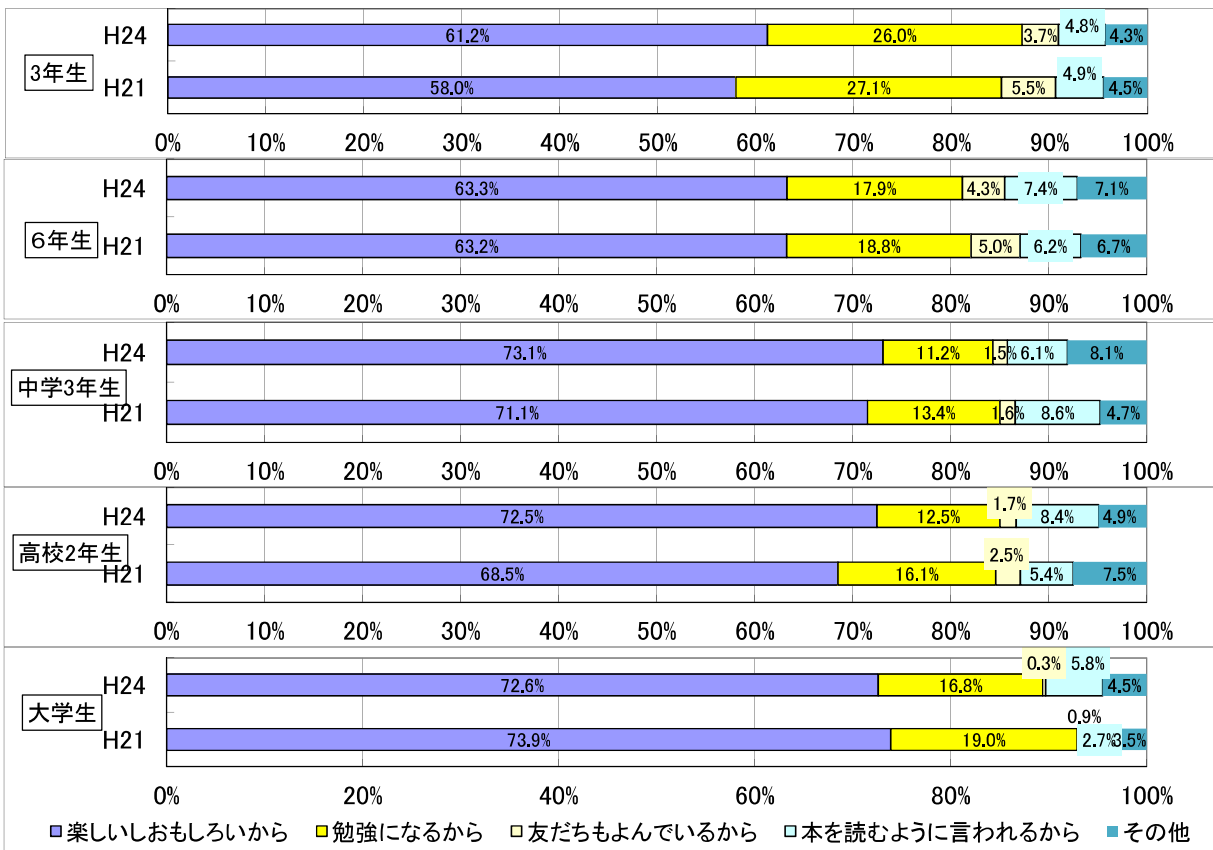
子どもの読書好きについて、「好き」「どちらかというが好き」が、小学3年生・中・高校生は80%を超えている。また、大学生については78%と、前回と比較して9.3%と最も増加した。小学6年生については78.4%と、80%を割る状況にある。

問2 あなたは、どんな本をよく読みますか。



小学3年生から大学生まで最もよく読む本は、「物語（小説）」である。高校2年生で「ケータイ小説」が伸びているのは、携帯・スマートフォンの普及が原因していると予想される。

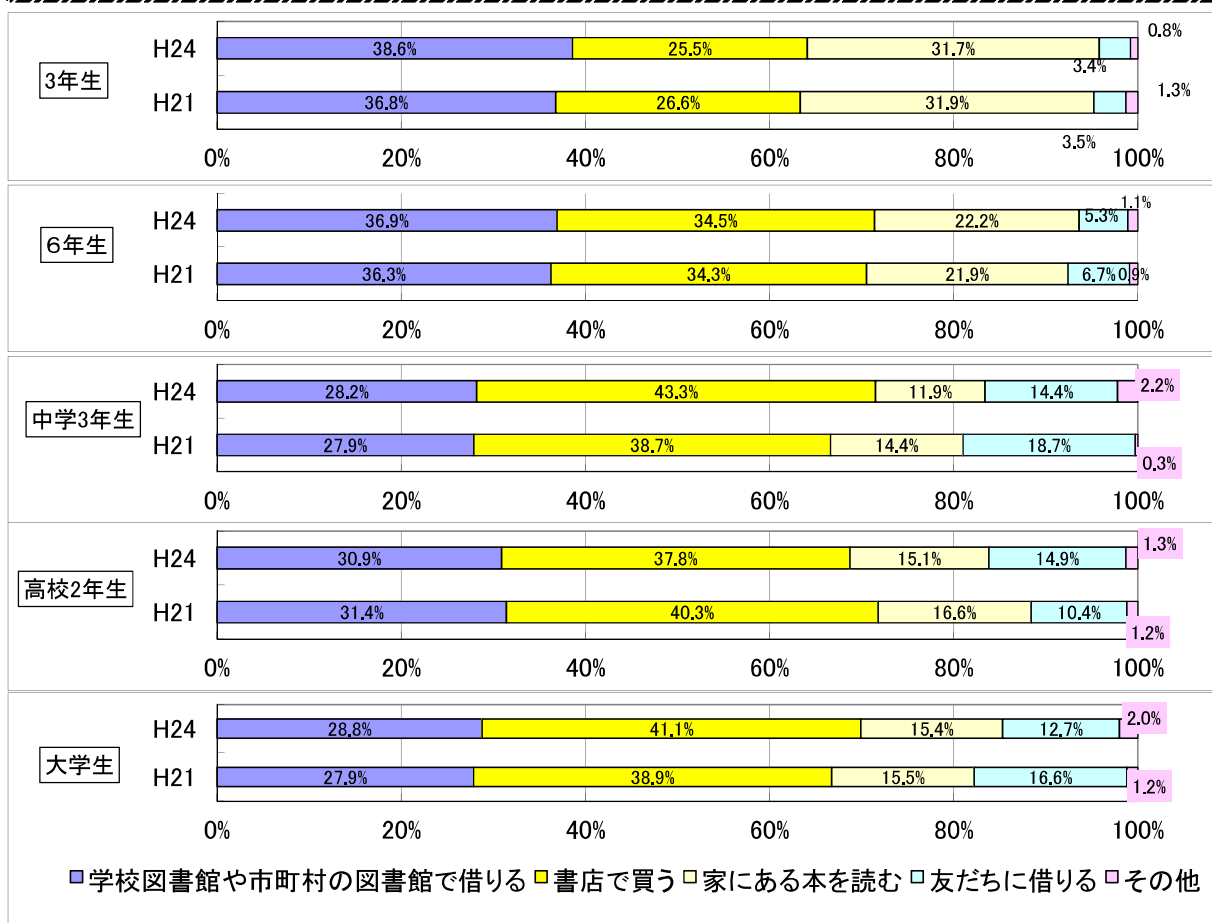
問3 本を読むのはどうしてですか。



本を読む理由として、小学3年生から大学生まで「楽しいしおもしろいから」との回答が最も多く、学年が上がるにつれその割合も高くなっている。また、「本を読むように言われるから」との回答も小学3年生以外、わずかではあるが増加している。

## (2) 学校や家庭での読書について

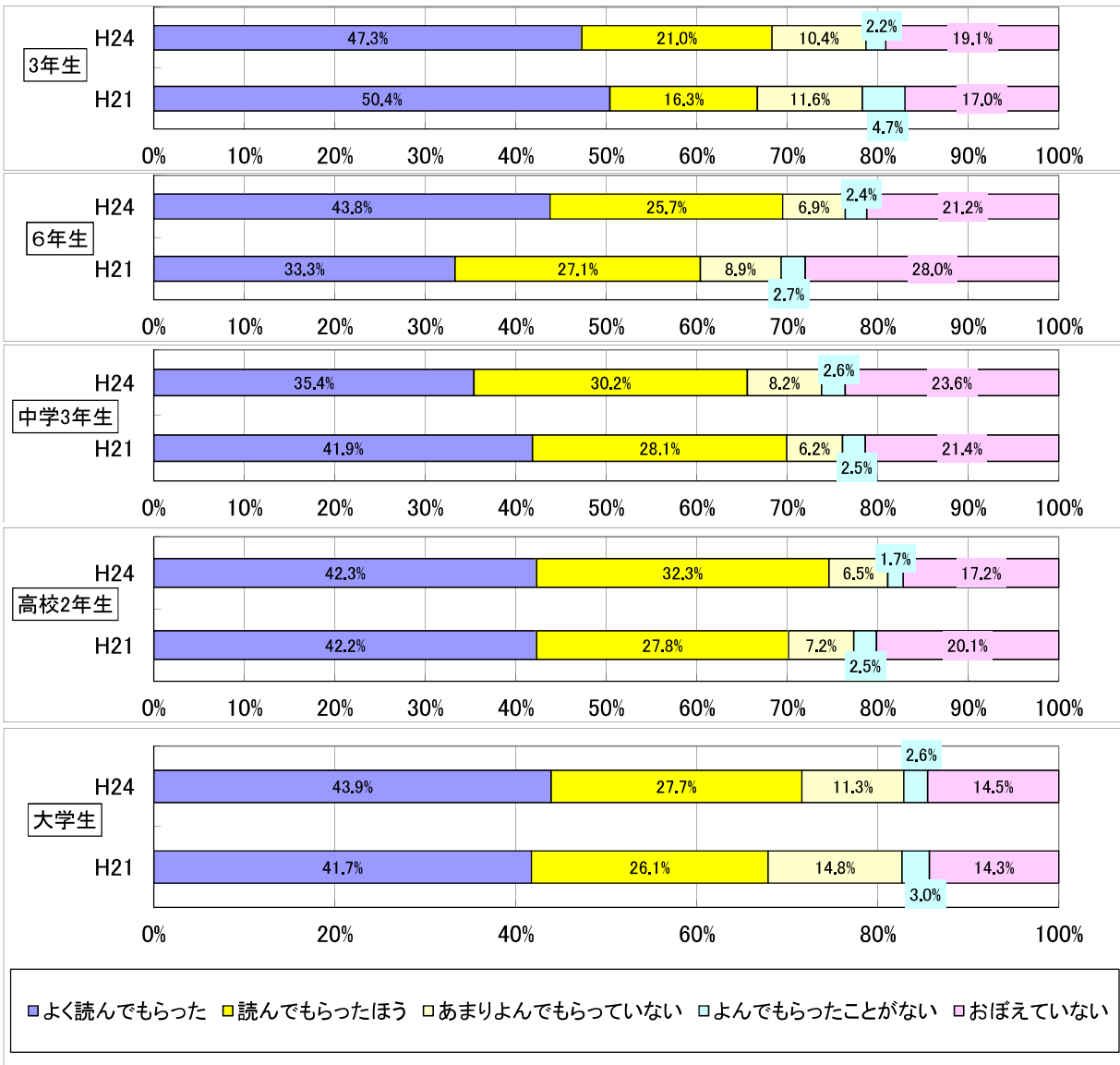
問4 あなたは、学校や家で読む本をどのように準備していますか。



小学3年生及び小学6年生は、「学校図書館や市町村図書館で借りる」がそれぞれ38.6%、36.9%と最も多くなっているが、中学3年生以降は、「書店で買う」が中学3年43.3%、高校2年37.8%、大学生41.1%と最も多い。学年が上がるにつれて、図書館にある本と読みたい本が違ったり、手元に置いておきたいという気持ちが生じるものと思われる。

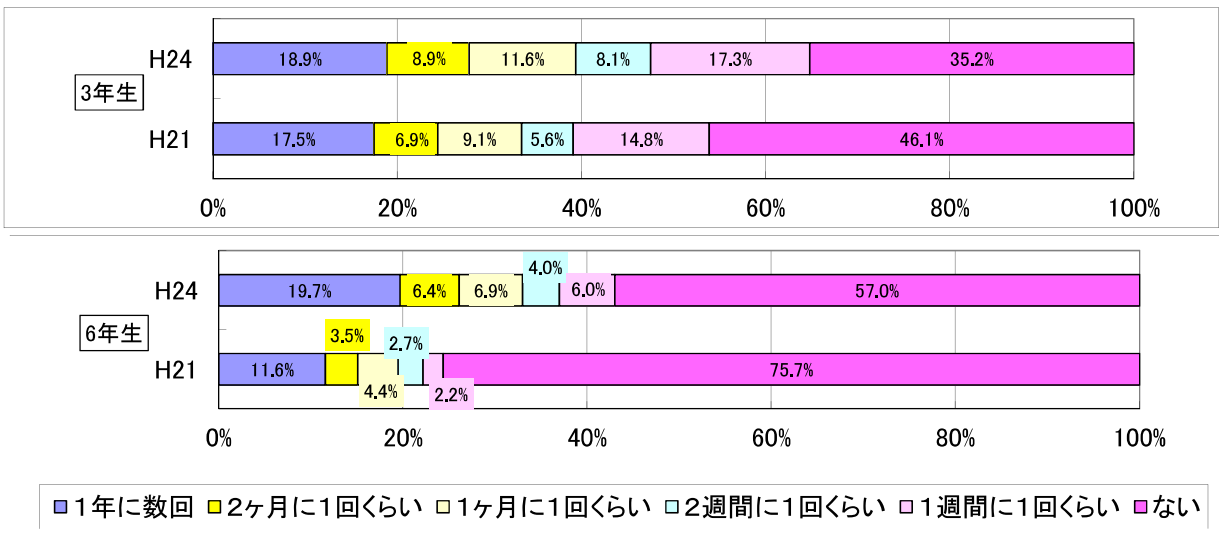


問5 あなたは、小さい頃(保育所、幼稚園の頃)、家族に絵本等を読んでもらったことがありますか。



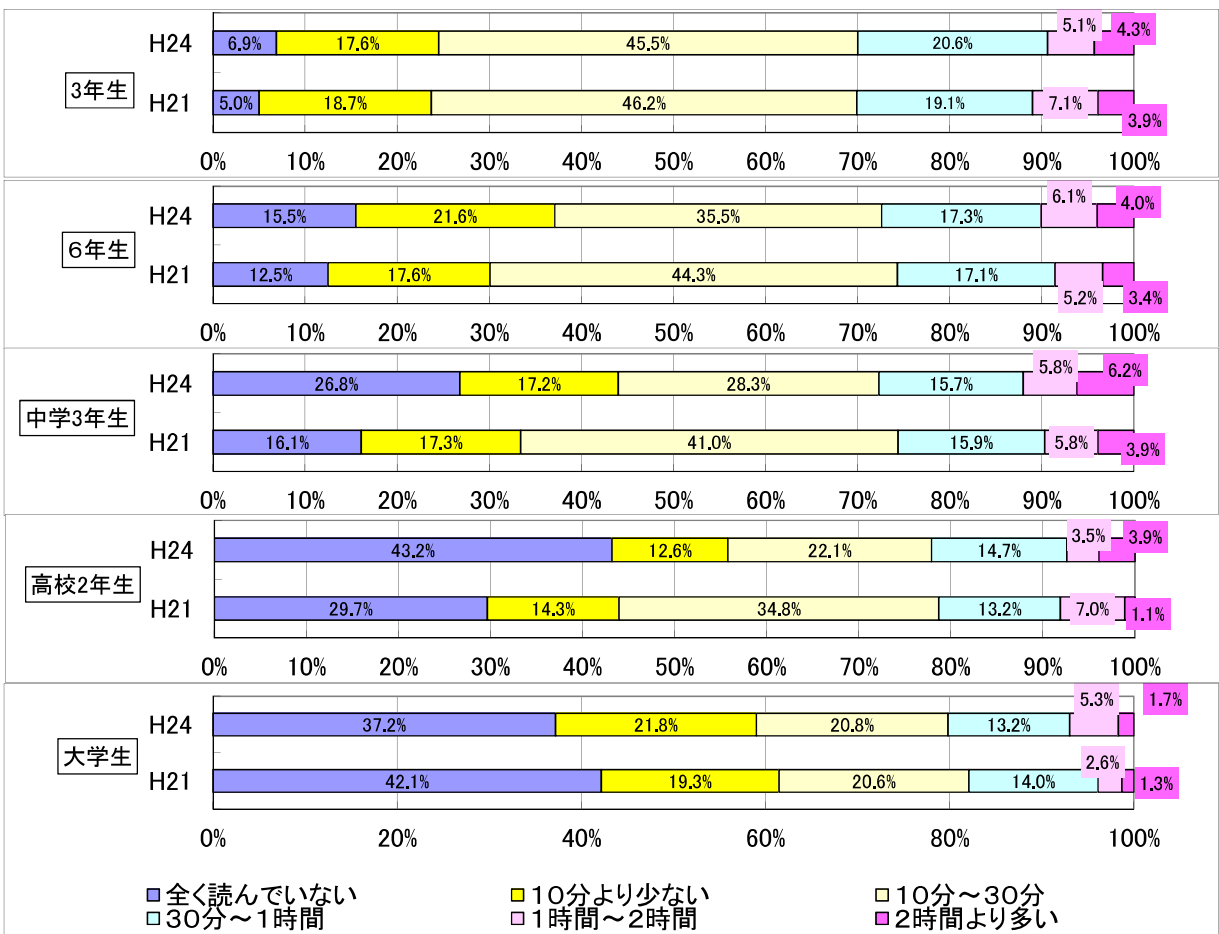
中学3年生以外では、「よく読んでもらった」「読んでもらった方」は、前回と比較し増加している。「読んでもらったことがない」は、中学3年生以外は減っていることから、家庭において読み聞かせが行われていることがうかがえる。

問6 あなたの家では、親子で一緒に本を読むことがありますか。



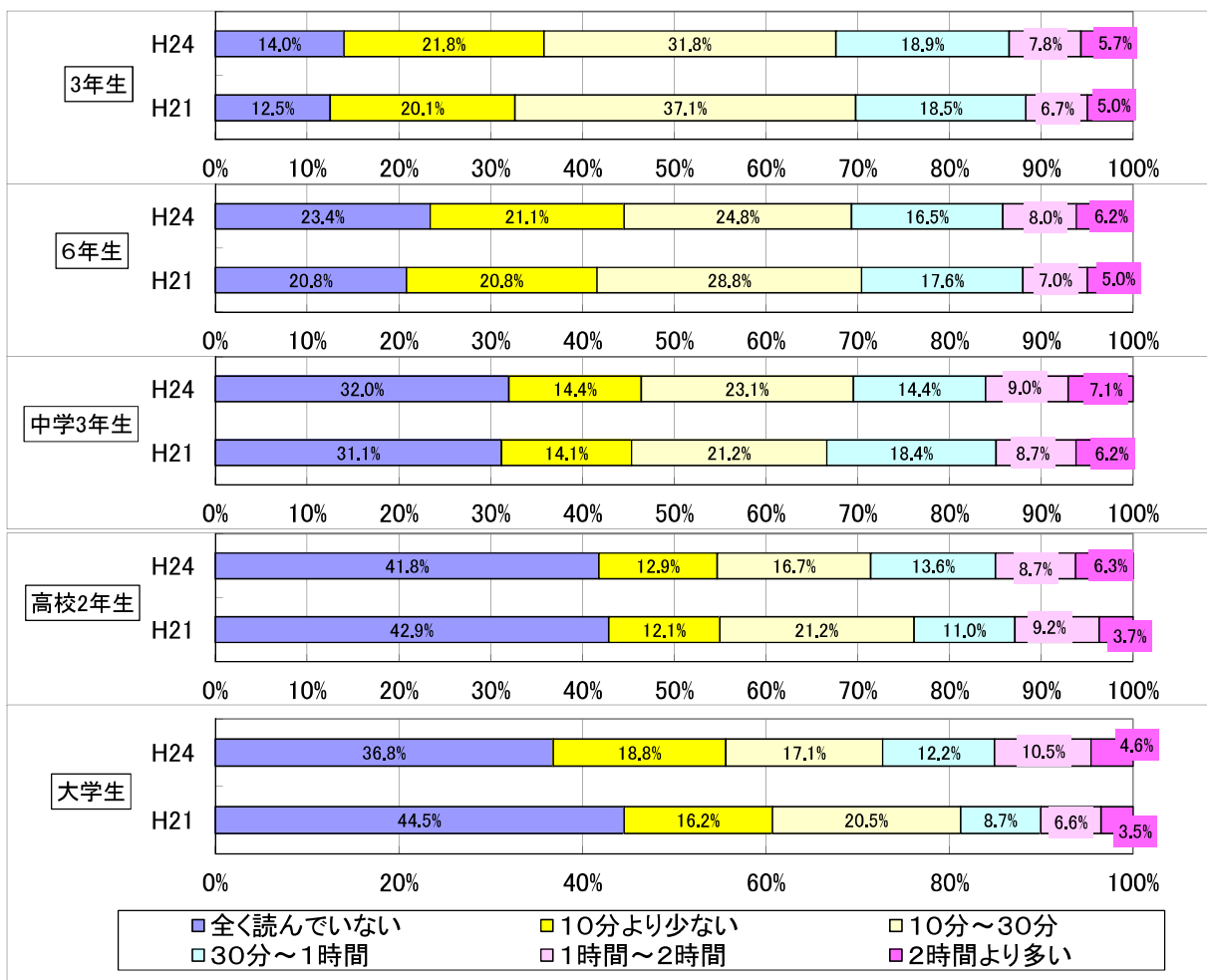
親子読書の経験が「ない」が、小学3年生で35.2%、小学6年生で57.0%と最も高い。しかし前回と比較すると減少しており、回数の頻度の違いはあるが、親子読書が増加している傾向にある。また学年が上がると回数も減ることから、自読に変化している可能性もある。

問7 あなたは、家や図書館で、平日(月～金曜日)、1日にどれくらいの時間読書をしますか。



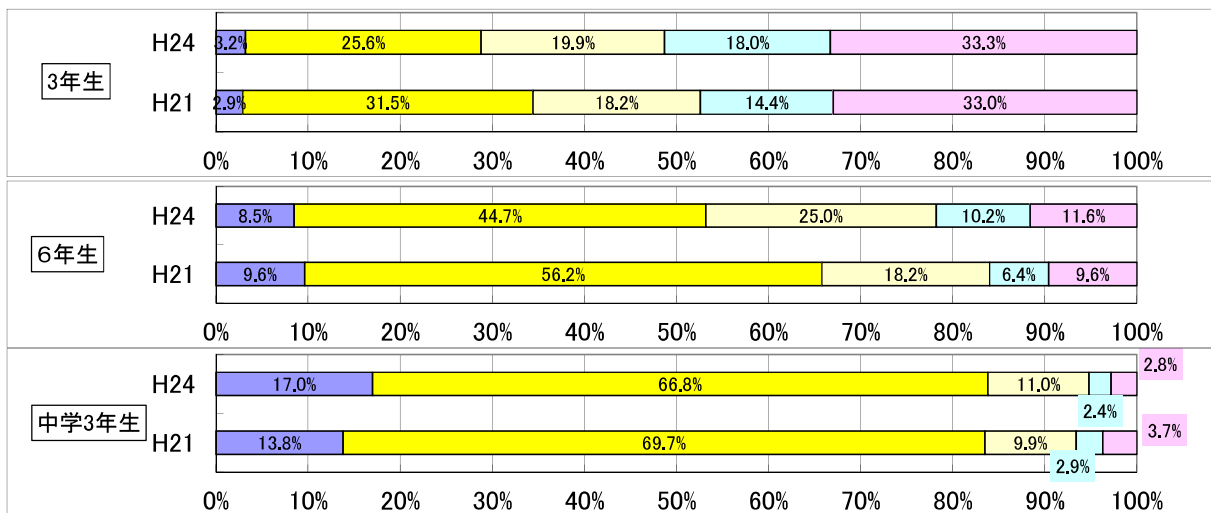
平日の学校以外（家庭や図書館など）での読書時間について、「全く読んでいない」が、大学生以外で増加している。前回調査同様、学年が上がると割合は増えるが、中学3年生で10.7%、高校2年生で13.5%と大幅に増加している。大学生は、「全く読んでいない」が前回と比較し4.9%減少している。

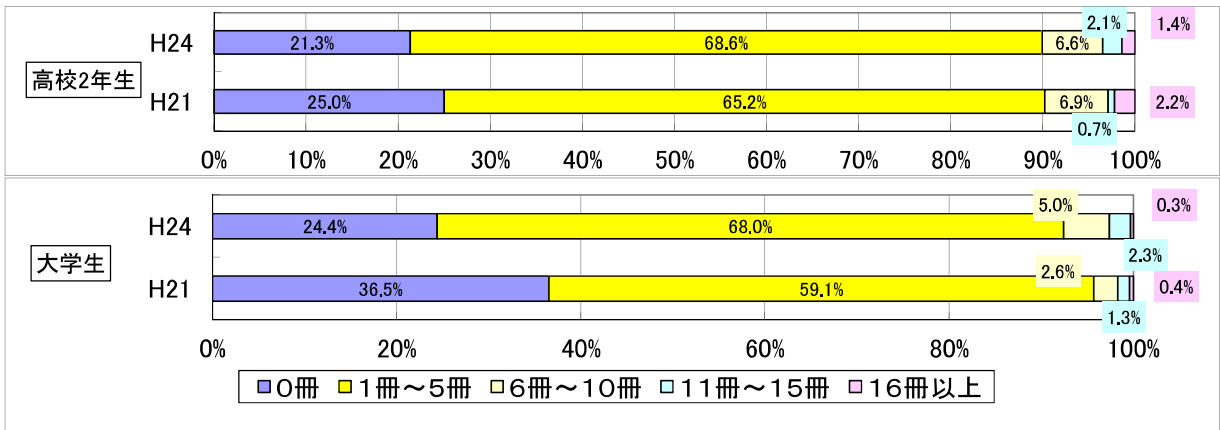
問8 あなたは、家や図書館で、休みの日(土、日、祝日など)、1日にどれくらいの時間読書をしますか。



休みの日や学校以外(家庭や図書館など)での読書時間について、「全く読んでいない」が、小学3年生で1.5%、小学6年生で2.6%、中学3年生で0.9%増加している。どの学年も平日と比較すると休日に読んでいる割合は低く、平日の方が読書時間は多い。

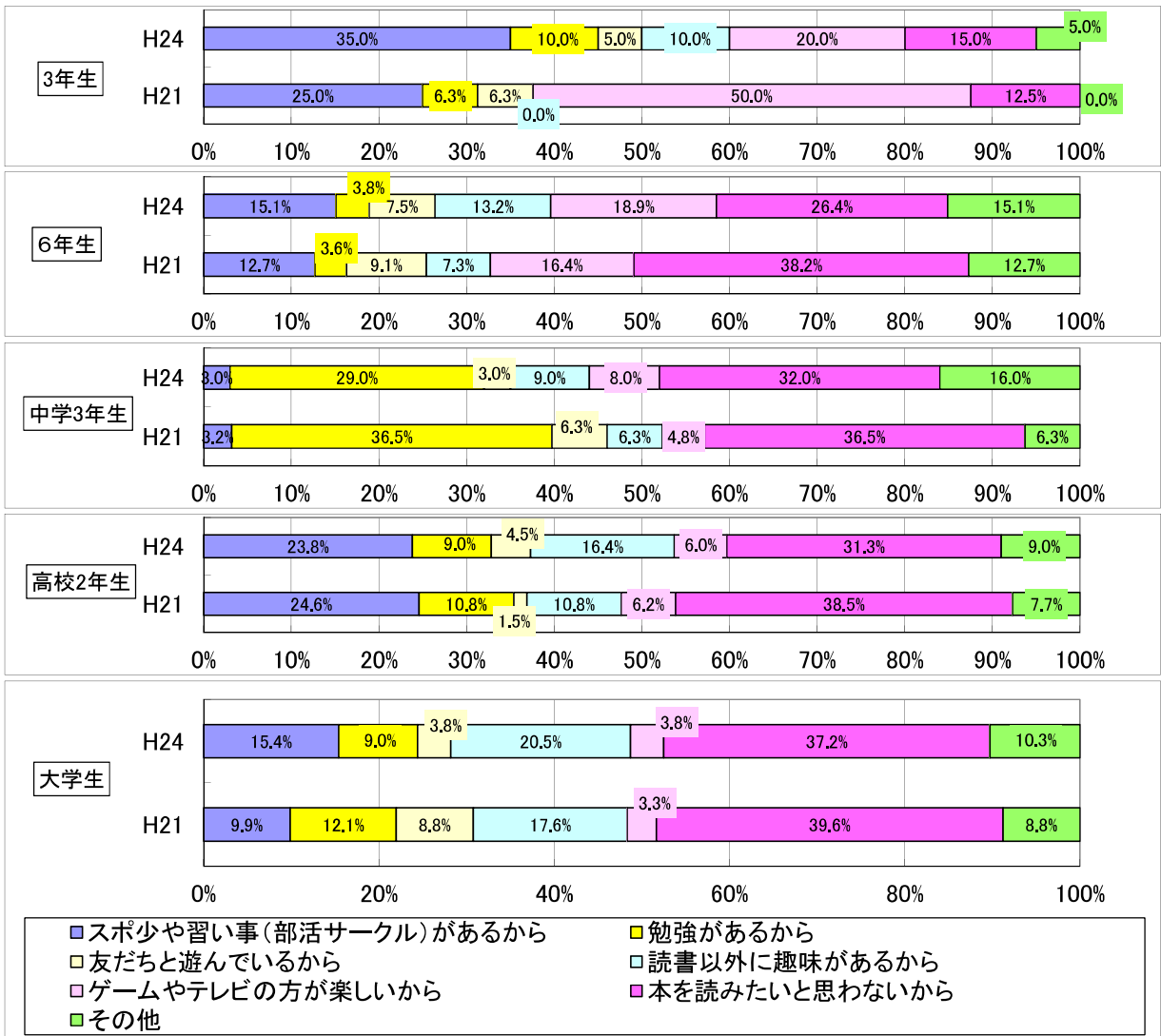
問9 あなたは、この1ヶ月に何冊本を読みましたか。





1ヶ月間に読んだ冊数は、小学3年生では「16冊以上」が33.3%と最も多く、読書に親しんでいる傾向が見える。6年生以上は「1冊～5冊」との回答が最も多い。「0冊」と回答した割合は、前回と比較すると、小学6年生で1.1%、高校2年生で3.7%、大学生で12.1%減少しており、特に、高校2年生、大学生で大幅に減少している。

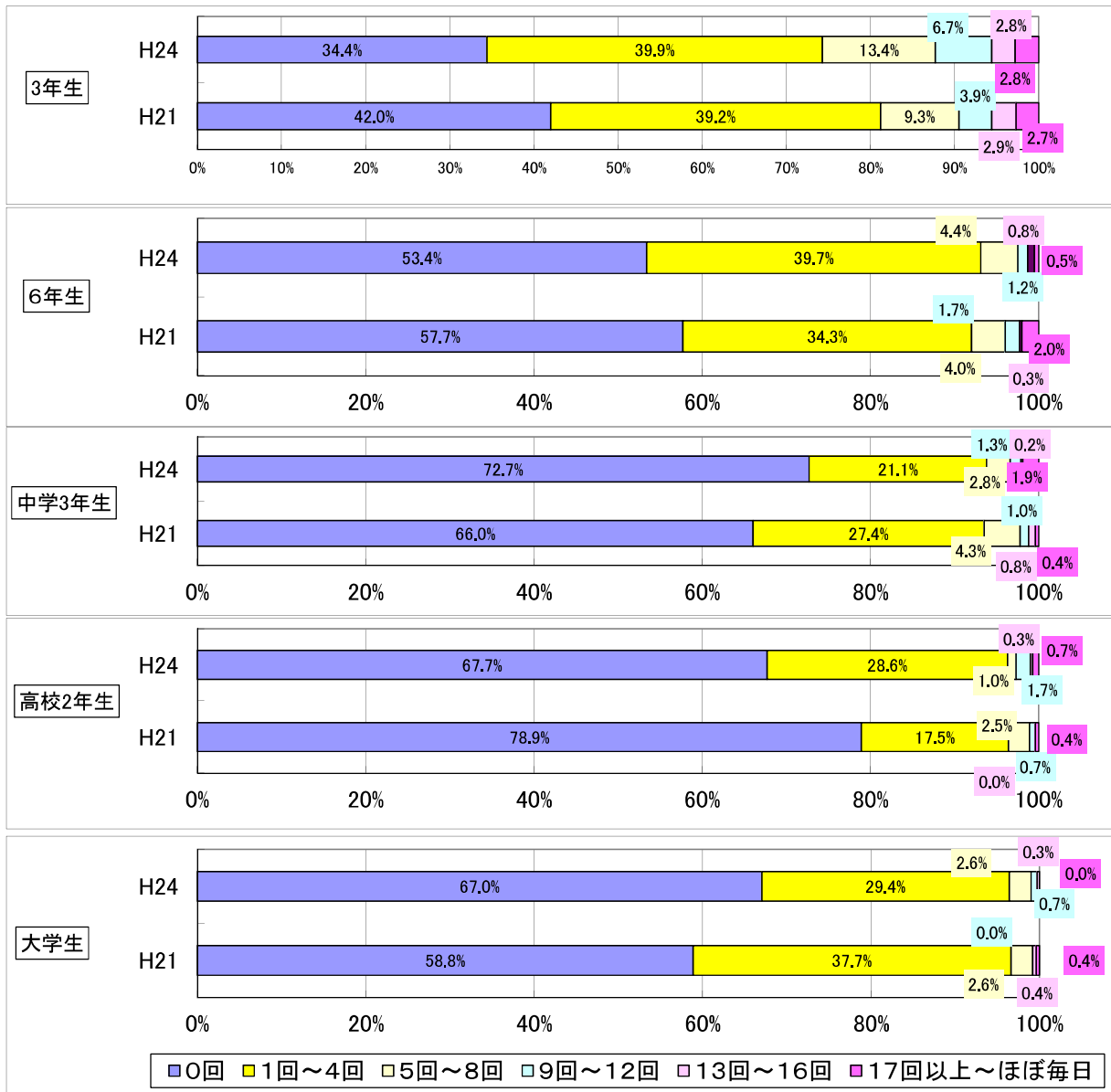
問10 0冊と答えた方にお聞きします。  
本を読まなかったのはなぜですか。



1ヶ月間に本を読まなかった理由として、小学3年生で最も多いのは、「スポーツや習い事があるから」との回答が35.0%と前回と比較し10%増加した。小学6年生以上では、「本を読みたいと思わない」との回答が最も多く、読書への関心が薄い傾向にある。また、「読書以外の趣味がある」との回答も小学6年生以上で増加しているなど、余暇の時間の使い方が多様化していることがうかがえる。

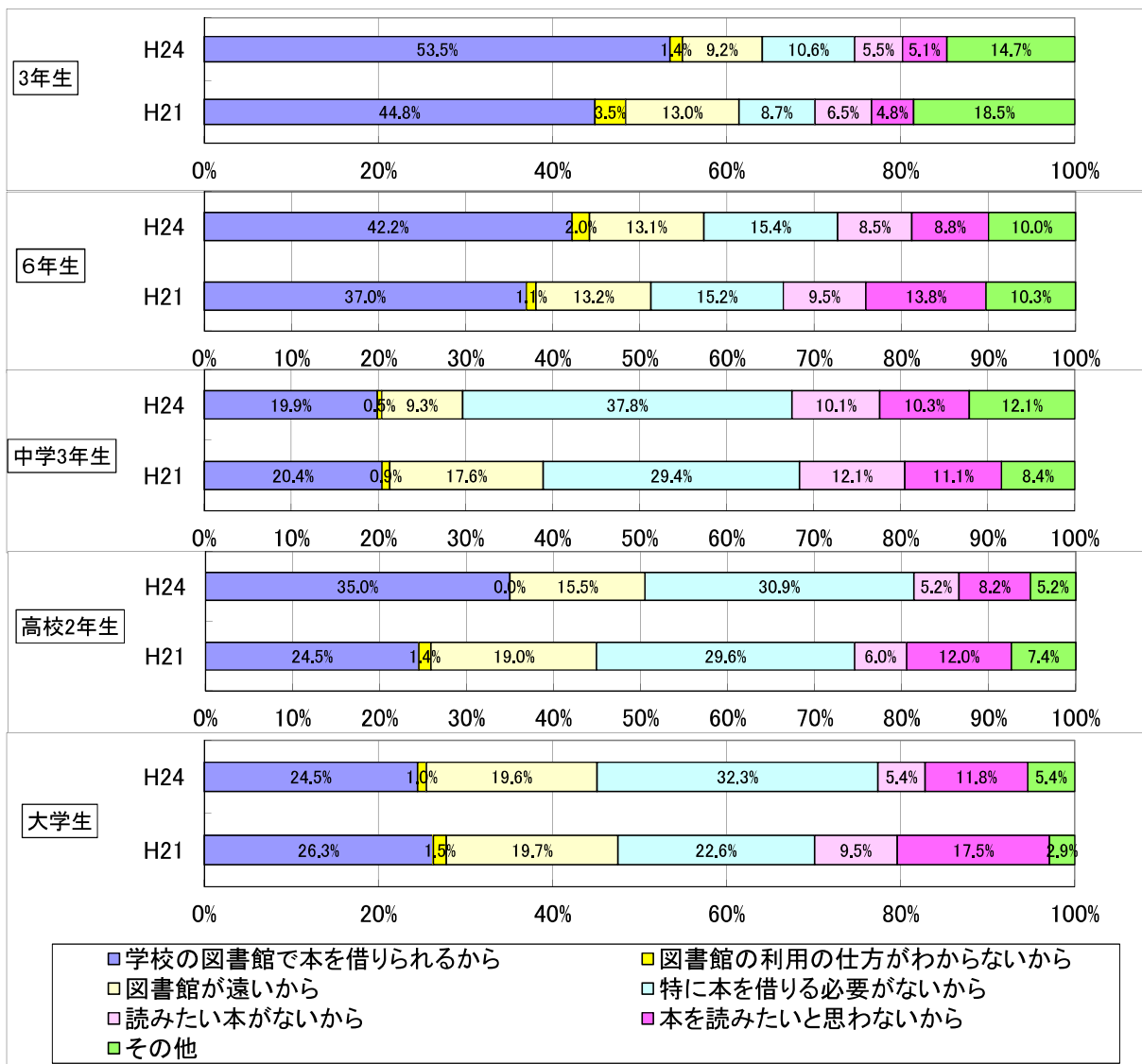
### (3)市町村の図書館の利用について

問11 あなたは、1ヶ月にどれくらい市町村の図書館(移動図書館車を含む)に行きましたか。



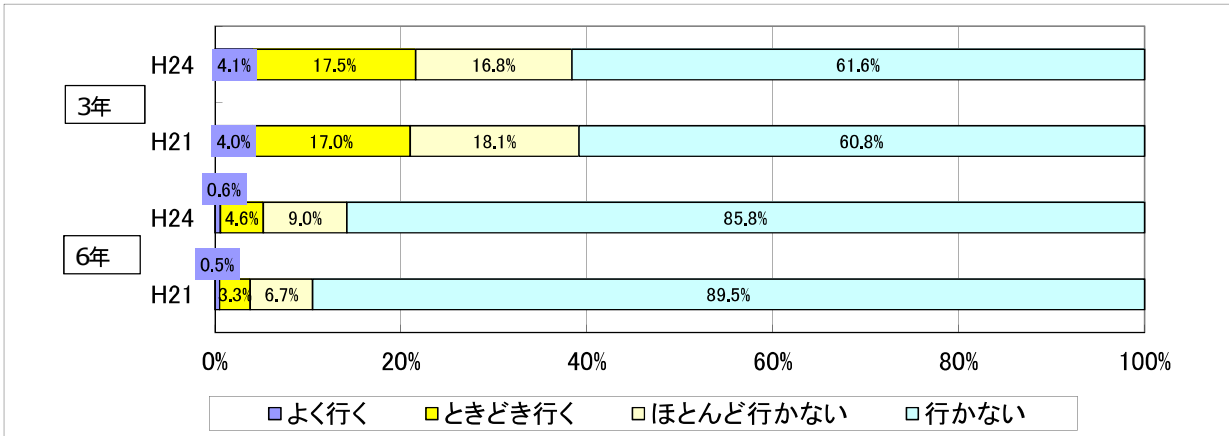
公共図書館の利用については、「0回」の割合は、いずれの学年も最も高いが、前回に比較して小学3年生で7.6%、小学6年生で4.3%、高校2年生で11.2%と減少している。しかし、学年が上がるにつれ割合は増加し、特に、小学6年生以降は半数以上が公共図書館を利用していない。

問12 問11で0回と答えた方にお聞きします。  
市町村の図書館(移動図書館車や県立図書館を含む)へ行かなかったのはどうしてですか。



公共図書館を利用しなかった理由として、小学3年生、6年生は、「学校の図書館で本を借りる」との回答がそれぞれ53.5%、42.2%と最も多く、中学3年生以上では、「特に借りる必要がない」という割合が中学3年生37.8%、高校2年生30.9%、大学生32.3%と最も高くなっている。

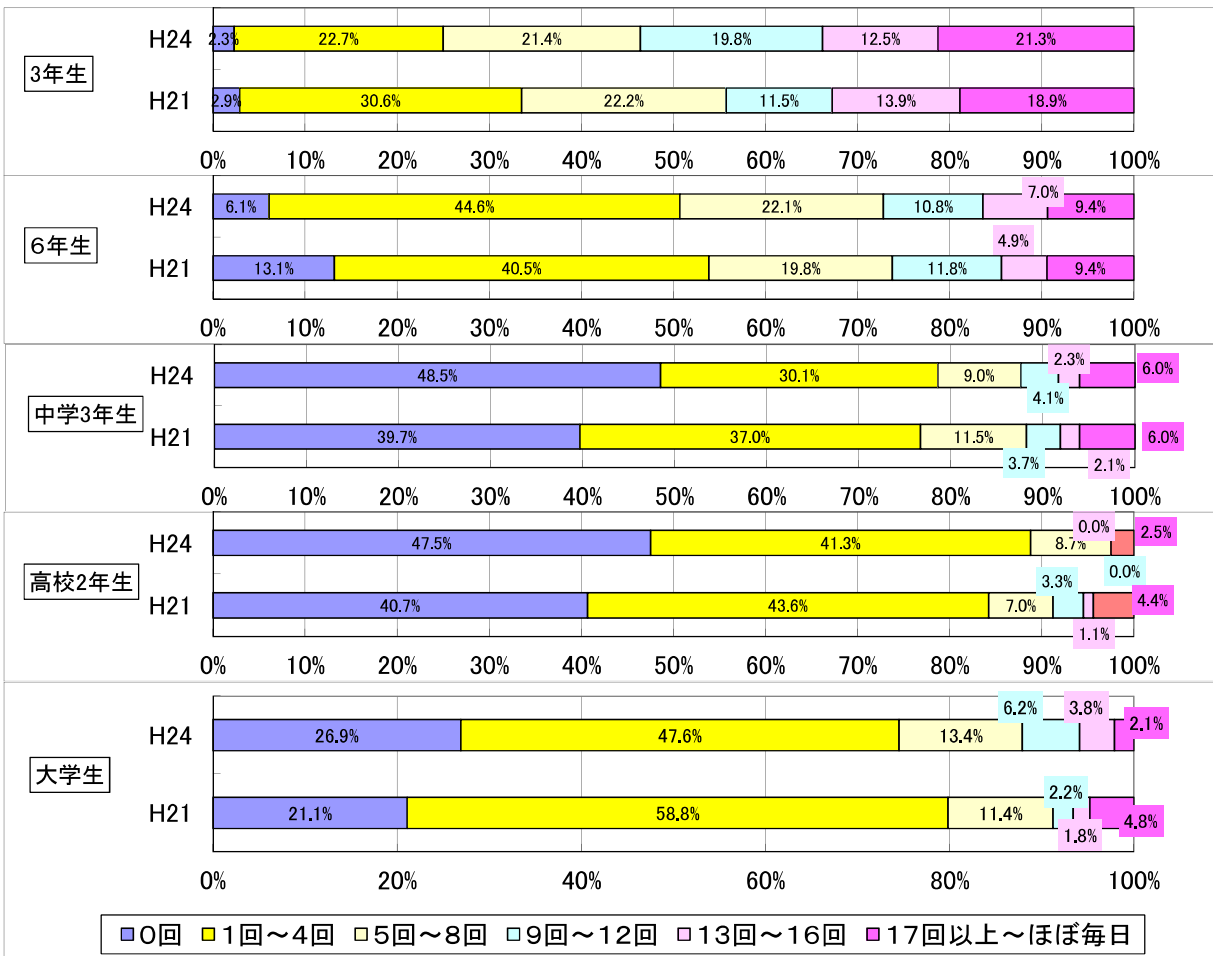
問13 あなたは、まちの図書館(県立図書館を含む)で行われる「おはなし会」に行くことがありますか。



図書館で行われる「おはなし会」の利用について、「行かない」が小学3年生61.6%、小学6年生85.8%と最も高くなっている。また、図書館が遠いと保護者が連れて行く必要があるなど、子どもが行きたくてもいけない場合もあると予想される。保護者への広報活動が大切である。

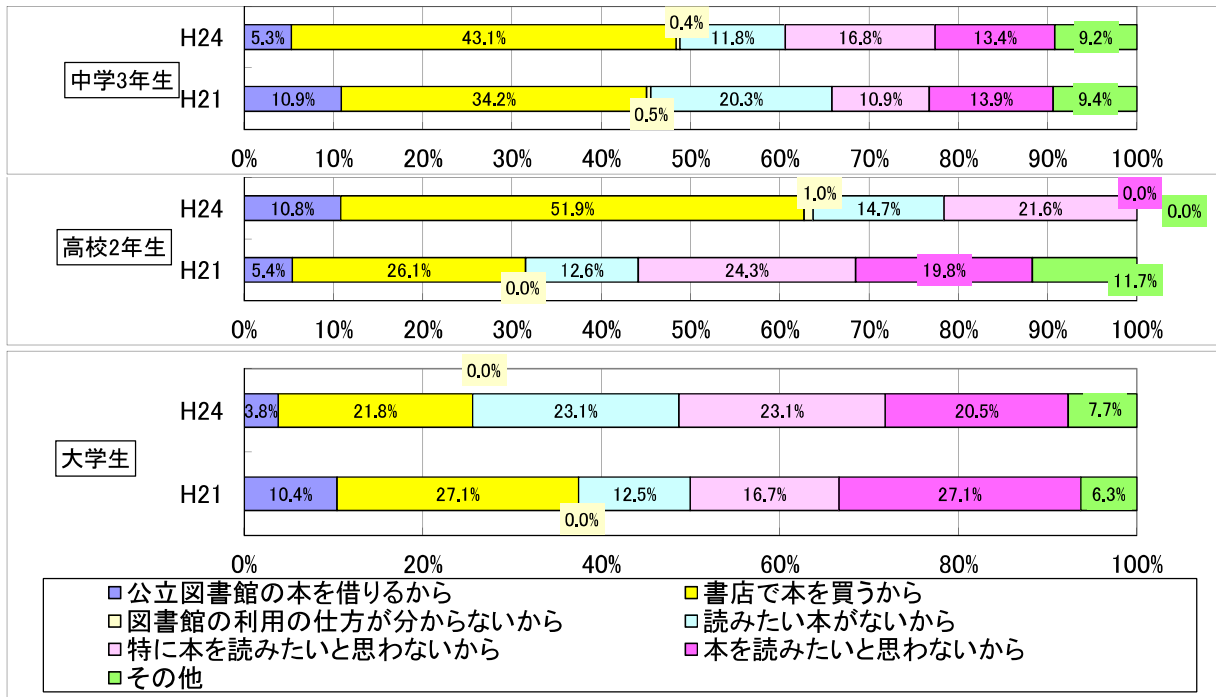
#### (4) 学校、大学の図書館の利用について

問14 あなたは、1ヶ月にどれくらい学校や大学の図書館に行きましたか。



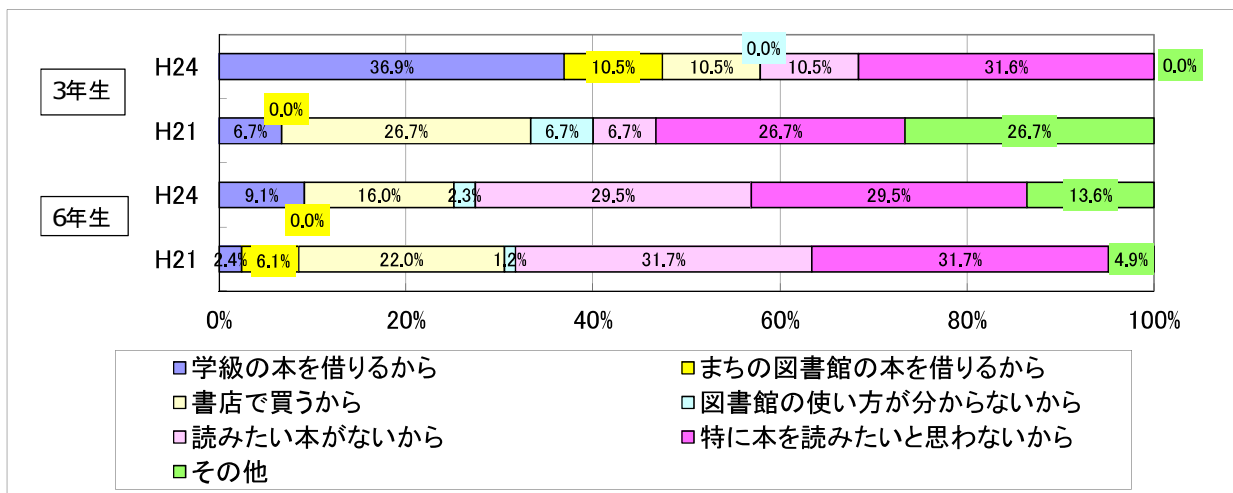
学校図書館の利用「0回」は、前回より小学3年生0.6%、小学6年生7.0%と減少しており、子どもにとって魅力ある図書館経営が広がっていることが予想される。一方、中学3年生では8.8%、高校2年生では7.0%、大学生では5.8%と増加している。

問15 問14で0回と答えた方にお聞きします。  
学校や大学の図書館に行かなかったのはどうしてですか。



学校図書館を利用しない理由は、中学3年生、高校2年生では、「書店で本を買う」がそれぞれ43.1%、51.9%と最も多い。特に高校生では、半数以上になるなど大きく増加している。中学3年生、大学生は、「特に本を読みたいと思わない」「本を読みたいと思わない」が4割を超え、読書への関心の薄さが表れている。

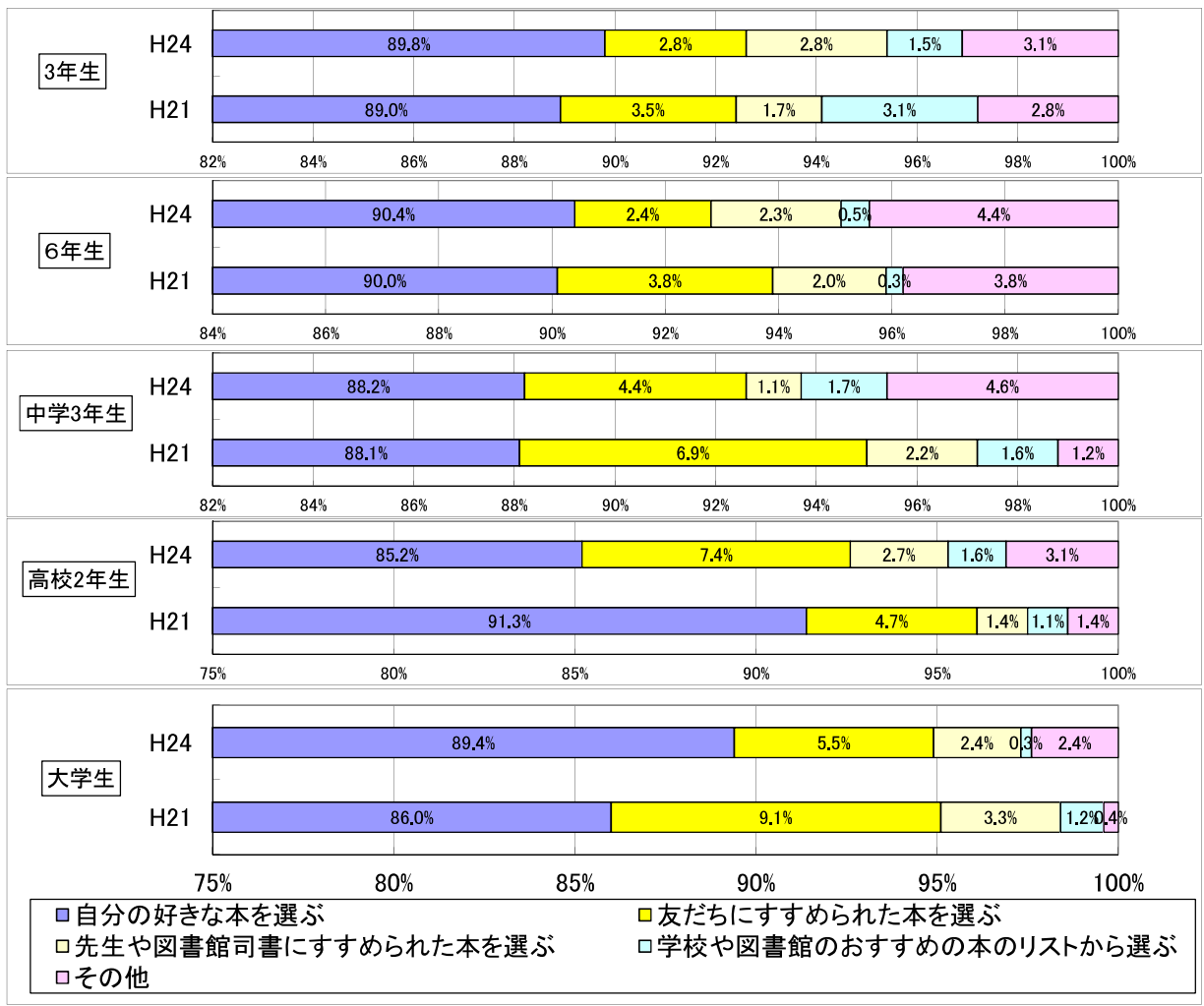
問16 問14で0回と答えた方にお聞きします。  
学校の図書館に行かなかったのはどうしてですか。



学校図書館を利用しない理由として、小学3年生では、「学級の本を借りる」との回答が36.9%と最も多く、すぐに借りられる学級文庫の利用が多いと思われる。また、「読みたい本がない」「特に本を読みたいと思わない」との回答が小学3年生42.1%、小学6年生59.0%と高い割合であることから、読書への関心を引き出すため、本の紹介をするなどの働きかけが大切になってくると考えられる。



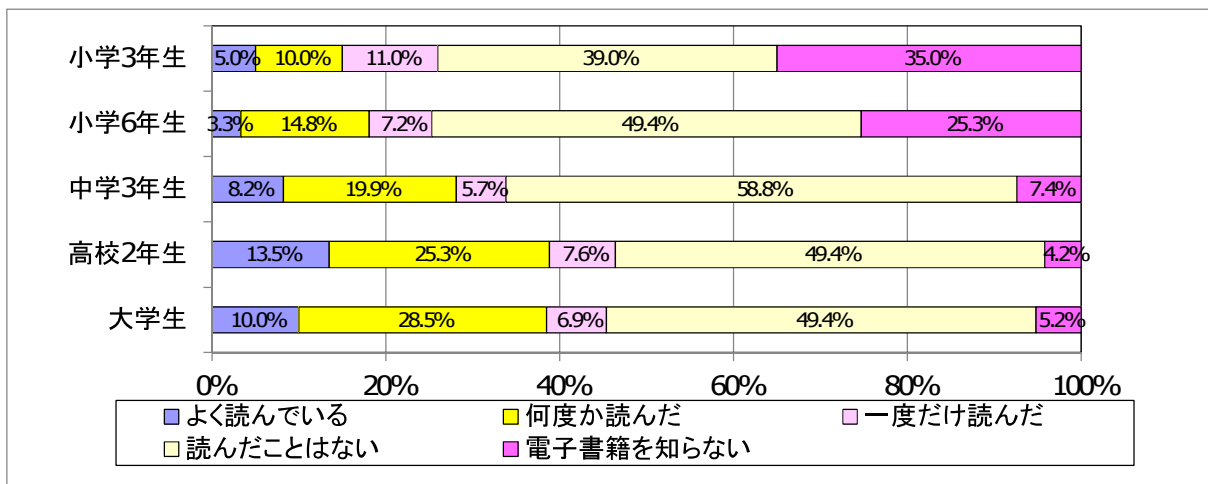
問17 (問 14) あなたは、本をどのように選んでいますか。



本の選び方として、前回調査同様「自分の好きな本を選ぶ」が最も多く、次いで「友達にすすめられた本」となる。前回との比較で、「先生や図書館司書にすすめられた本を選ぶ」が、小学3年生、6年生、高校2年生で増加している。

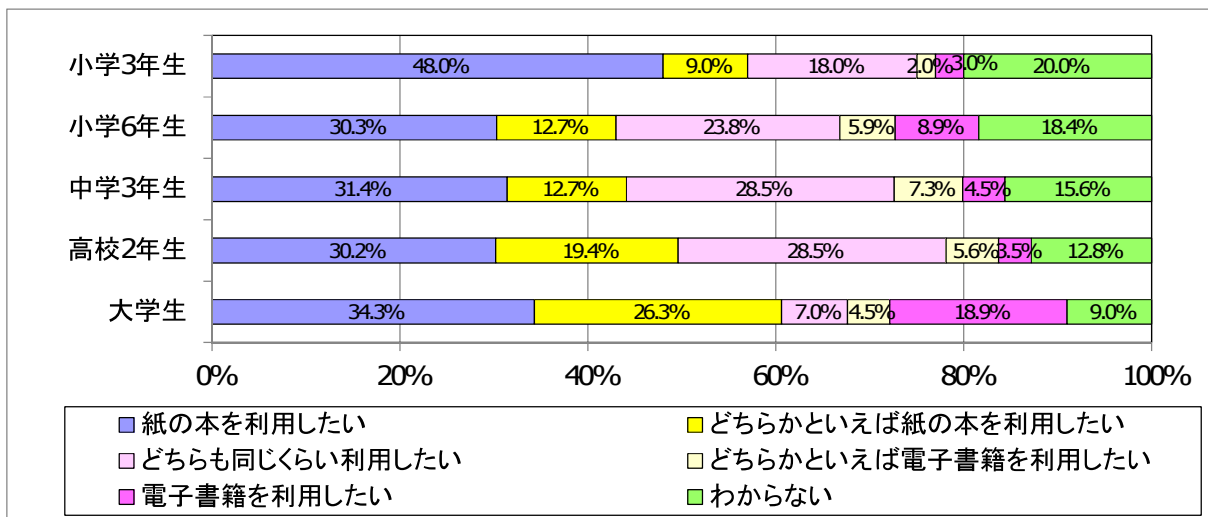
### (5) 電子書籍の利用について

(問15) あなたは、電子端末 (iPadや携帯電話やスマートフォンなど) を使って電子書籍を利用したことがありますか



電子書籍の利用については、学年が上がるにつれ利用経験者は増えている。小学3年生では「読んだことがある」との回答が26%あり、4人に1人の割合となっている。

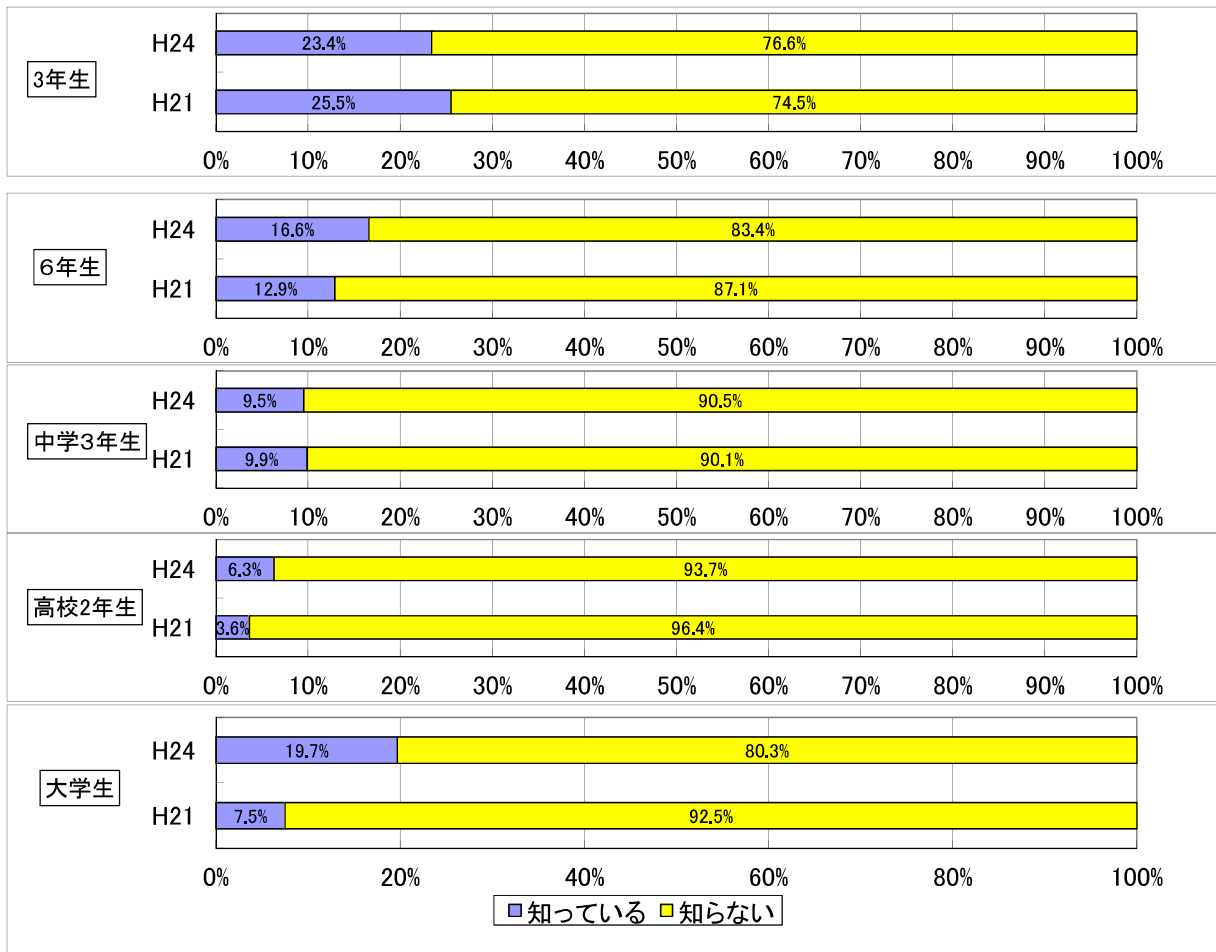
(問16) あなたは、これから紙の本と電子書籍どちらを利用したいと思いますか。



今後の電子書籍の利用については、「紙の本」「どちらかといえば紙の本」を利用したいと考えている子どもはどの学年でも多いが、「どちらも同じくらい利用したい」との回答が小学3年生から高校2年生まで最も多い。積極的に電子書籍を利用したいという割合はそれほど高くないが、今後の電子化される本の種類が増えたり利用方法が簡易になると、さらに増えることが予想される。

## (6)子ども読書の日について

問18 (問15) 4月23日は、「子ども読書の日」ということを知っていますか。

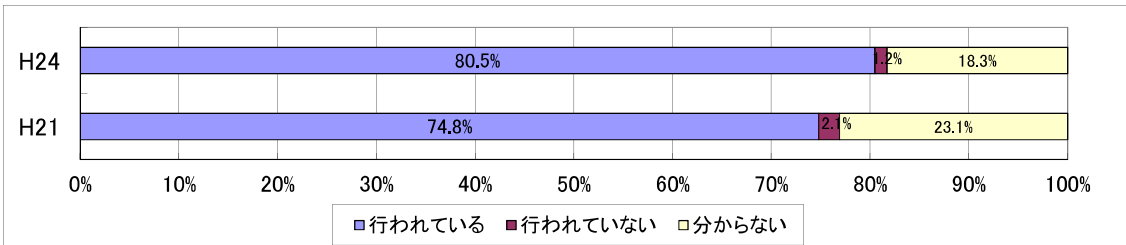


「子ども読書の日」については、「知っている」との回答が、小学6年生16.6%、高校2年生6.3%、大学生19.7%と前回と比較し、小学6年生3.7%、高校2年生2.7%、大学生12.2%増えているが、全体的に低い状況である。また、学校によって認知率は大きく異なっており、「子ども読書の日」のイベント等の学校での取組による違いも影響していると予想される。

【保育所・幼稚園年長保護者】

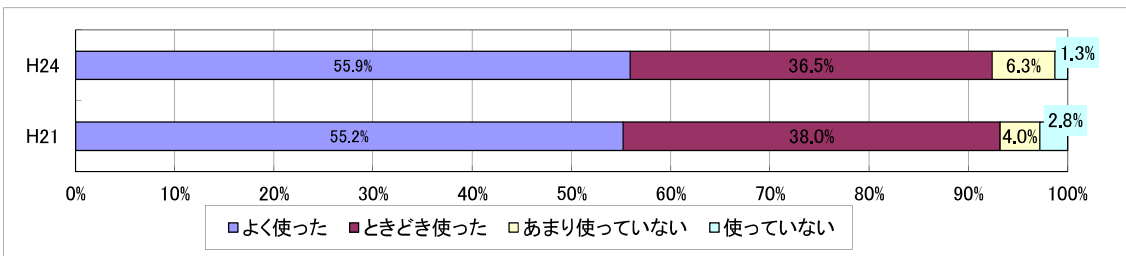
(1) 市町村ブックスタート事業について

問1 あなたの市町村では、ブックスタート事業(6ヶ月健診時等に絵本を手渡す事業)が行われていますか。



平成21年度以降全市町村で行われているブックスタート事業の認知度は、80.5%と前回より5.7%増加した。

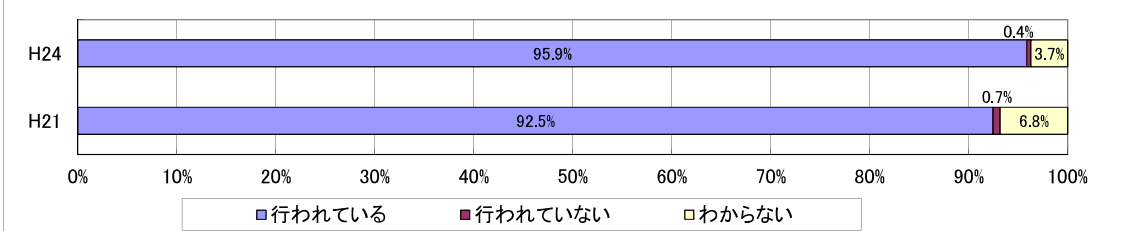
問2 ブックスタート事業でいただいた絵本は、家庭で読み聞かせ等に活用されましたか。



ブックスタート事業でもらった絵本の活用率は、「よく使った」「ときどき使った」があわせて92.4%と家庭での読み聞かせに利用されていることがうかがえる。

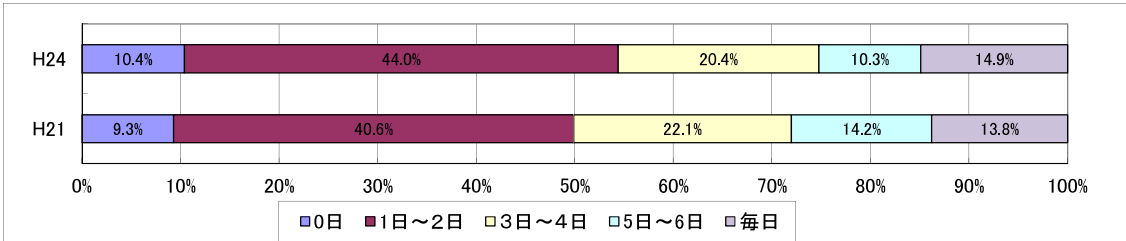
(2) 保育所・幼稚園や家庭での読書について

問3 あなたのお子さんが通われている保育所・幼稚園では、読み聞かせやおはなし会が行われていますか。



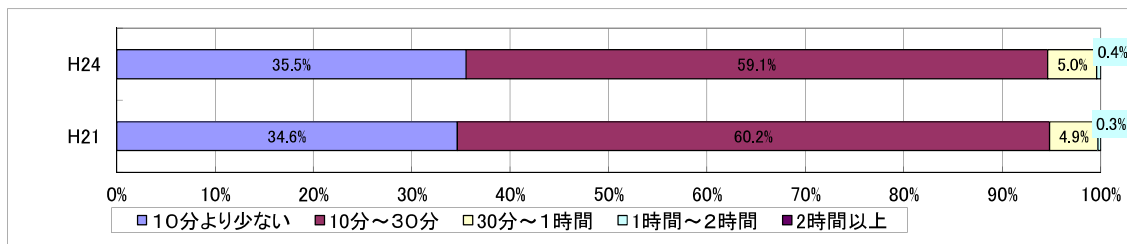
子どもの通っている保育所・幼稚園での読み聞かせについて、95.9%が「行われている」と回答している。前回より3.7%増加し、保護者の認知度は向上している。

問4 あなたの家では、1週間にどれくらいお子さんに絵本などの読み聞かせをしたり一緒に本を読んだりしますか。



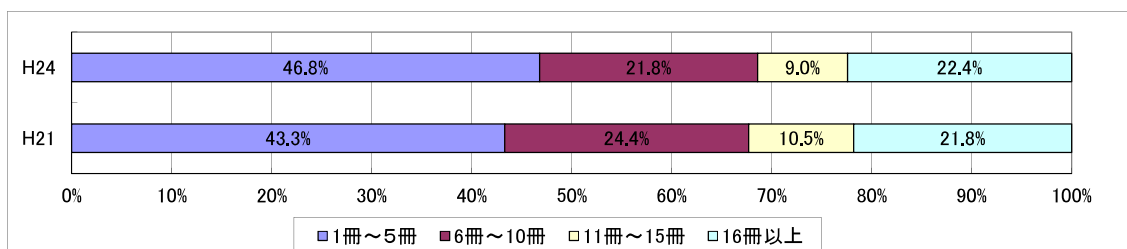
1週間に読み聞かせをするのが「0日」と回答した家庭は、10.4%と前回と比較し1.1%増加した。一方、「毎日読む」という家庭も14.9%と1.1%増加している。

問5 問4で読み聞かせや一緒に本を読んでいる方にお聞きします。  
あなたが、1日にお子さんに本を読んであげる(一緒に読む)時間はどれくらいですか。



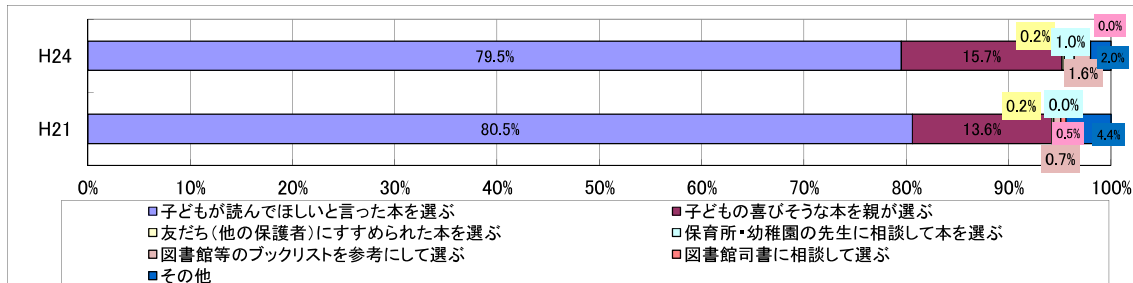
1日の読み聞かせをする時間は、「10分より少ない」「10分～30分」で94.6%と、ほぼ30分未満である。

問6 問4で読み聞かせや一緒に本を読んでいる方にお聞きします。  
あなたは、この1ヶ月間に何冊くらい読み聞かせ(一緒に読む)をしましたか。  
(同じ本を2回読んだ場合は2冊としてください)



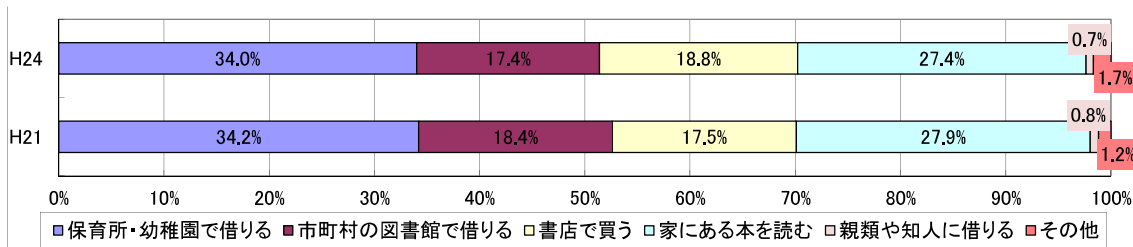
1ヶ月間に読み聞かせをする冊数は、「1冊～5冊」との回答が46.8%と最も多く、前回より3.5%増えている。また、「16冊以上」との回答が22.4%で、0.6%増加している。

問7 あなたは、お子さんに読んであげる本をどのように選んでいますか。



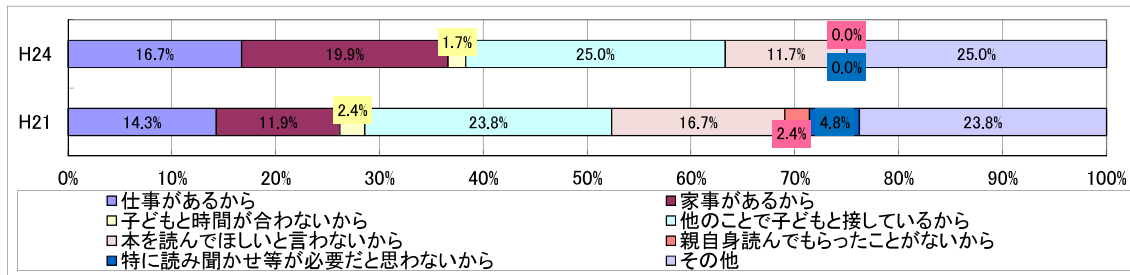
子どもに読む本は、「子どもが読んでほしいと言った本を選ぶ」が79.5%と最も多い。次いで、「子どもの喜びそうな本を親が選ぶ」が15.7%となっている。また、「図書館等のブックリストを参考にして選ぶ」が0.9%増加したことから、良書を選ぶという意識が出てきていると言える。

問8 あなたの家では、読み聞かせをする本や一緒に読む本をどのように準備していますか。



読み聞かせをする本の準備については、前回同様「保育所・幼稚園で借りる」が34.0%と最も多い。このため、保育所・幼稚園に置く本の選書が重要となることがうかがえる。また、「市町村の図書館で借りる」より「書店で買う」が若干増加していることから、保護者の選書能力も大切になってくる。

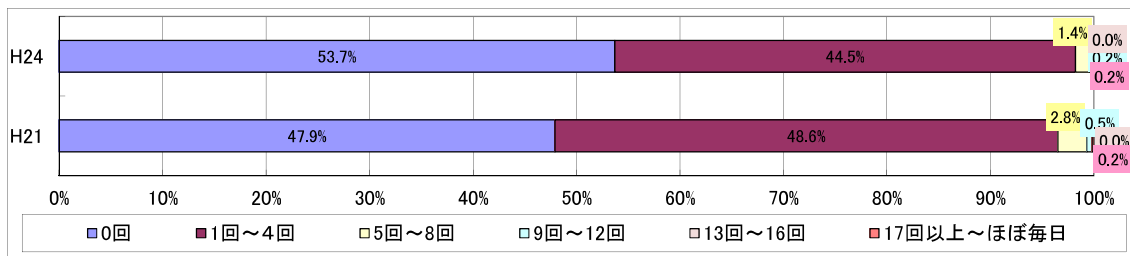
問9 問4で0日と答えた方にお聞きします。  
お子さんに読み聞かせをしたり一緒に本を読んだりしないのはなぜですか。



家庭で読み聞かせをしない理由として、「仕事があるから」「家事があるから」があわせて36.6%と前回と比較して10.4%増加していることから、保護者の多忙感が見て取れる。また、「他のことで子どもと接しているから」が25%となっており、読み聞かせ以外の子どもとの接し方を調査する必要がある。読み聞かせは、子どもと接する大切なツールであることを伝えていく必要がある。

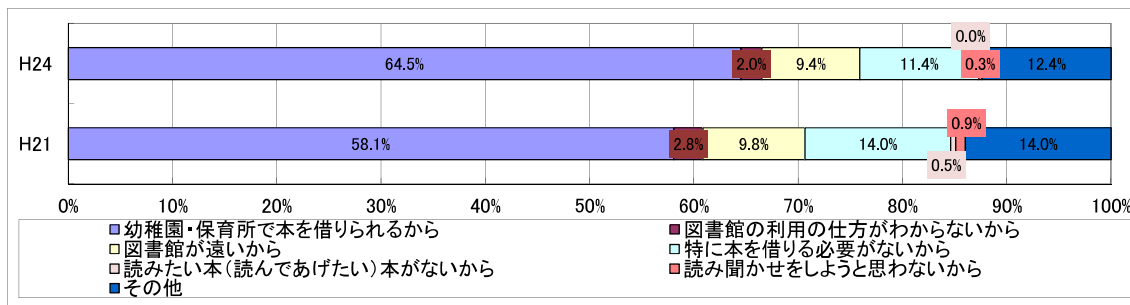
### (3)市町村図書館の利用について

問10 あなたは、1ヶ月にどれくらい市町村の図書館(移動図書館車や県立図書館を含む)に行きましたか。



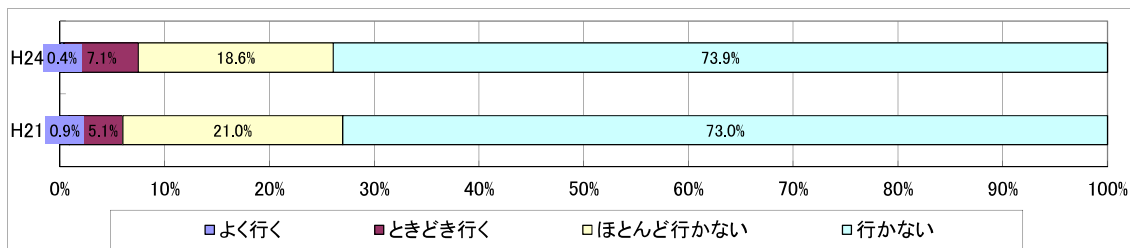
1ヶ月の図書館の利用状況は、「0回」が53.9%と前回より5.8%増加している。「1回~4回」の利用も4.1%減少し、市町村の図書館の利用は減少している。

問11 問10で0回と答えた方にお聞きします。  
市町村の図書館に行かなかったのはどうしてですか。



図書館を利用しない理由として、「幼稚園・保育所で本を借りられるから」が64.5%と最も多く、前回より6.4%増加している。このことから、保育所・幼稚園の本の整備が重要であると言える。

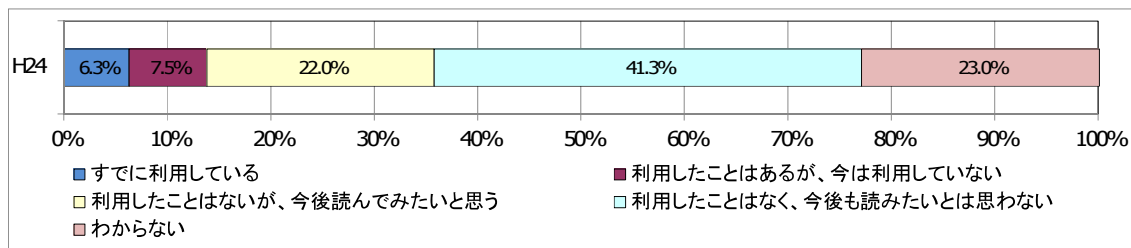
問12 あなたは、お子さんと一緒に市町村の図書館で行われる「おはなし会」に行くことがありますか。



市町村で行われる読み聞かせ会への参加は、「ほとんど行かない」「行かない」との回答があわせて92.5%となっている。園児は、保護者が連れて行かないと参加することができないので、保護者への情報提供が重要である。

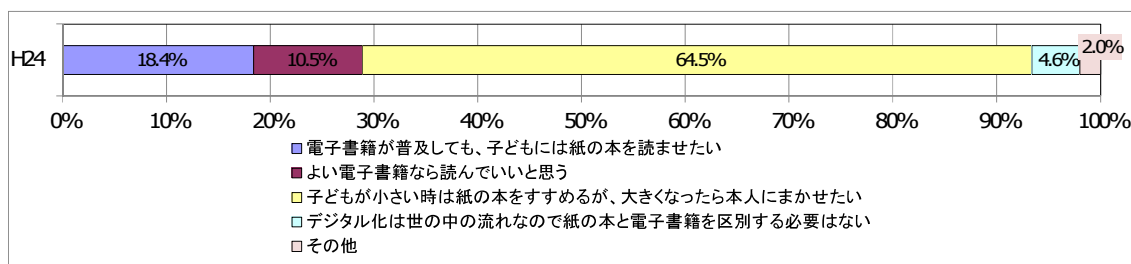
#### (4) 電子書籍の利用について

問13 あなたは、電子端末(iPadや携帯電話など)を用いた電子書籍についてどう思いますか。



電子書籍の利用については、「利用したことはなく、今後読みたいとは思わない」が41.3%と最も多い。「利用したことはないが、今後読んでみたいと思う」が22%となっており、電子書籍の利用者が今後増えることが予想される。

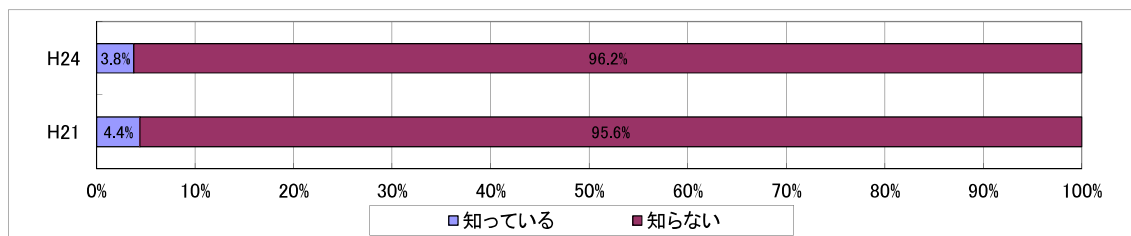
問14 電子書籍と子ども達の読書についてどのように思いますか。



電子書籍と子ども達の読書の関わりについて、保護者の意識は、「子どもが小さい時は紙の本をすすめるが、大きくなったら本人にまかせたい」との回答が64.5%となっている。今後、メディア教育のあり方が大きく関連してくると予想される。

#### (5) 子ども読書の日について

問15 4月23日は、「子ども読書の日」ということを知っていますか。



「子ども読書の日」の認知度は、96.2%と前回より3.8%減少した。今後、学校・公共図書館・書店商業組合等と連携して、読書週間の取組などと絡めて周知を強化する必要がある。